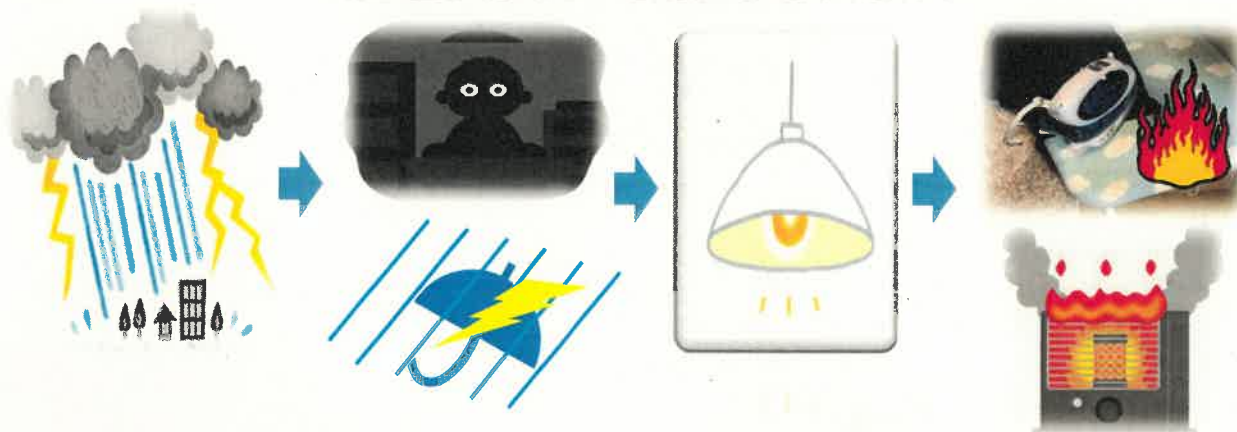


つうでん かさい

通電火災を防ごう

通電火災とは、地震や風水害による停電の後、電気が復旧した際に起こる火災をいいます。阪神淡路大震災・東日本大震災において、通電火災による二次災害が多く発生したことで注目されました。日本は災害大国と呼ばれ、地震や異常気象を含む災害は増える傾向にあることから、通電火災も増えることが予想されます。

通電火災ってどんな火災？



ある日のこと
外は大雨が降り続き
雷が鳴り響いています。

大雨や雷が影響し
広い範囲で停電が
発生しています。

数時間後に
電気が復旧し
停電が解消しました。

停電前に使用していた電気
機器のスイッチOFFを忘れ
たため、復旧と同時にスイ
ッチONとなり火災が発生。

通電火災を防ぐためには・・・

① 地震や風水害での停電時は電気機器のスイッチ
をOFFにしプラグをコンセントから抜きましょう。



② 家の中のブレーカーを落としましょう。



防災グッズの紹介
感震ブレーカー



震度5以上の
揺れが発生すると



自動でレバーが作動して
ブレーカーを落としてくれます。

建物や電気機器に外見上の損傷がなくとも、壁内配線や電気機器内部の故障により、停電が解消されて長時間経過後、火災に至る場合があります。煙の発生等の異常があれば直ちにブレーカーを落とし、119番通報をしてください。

問い合わせ先

高知市丸ノ内一丁目7番45号
総合あんしんセンター5階
高知市消防局予防課 予防係



☎ 088-871-7504 FAX 088-824-5082